



女と男のいきいきライフは市民スタッフと協働し、編集しました。
 関人権政策室(TEL6384・1461 FAX6368・7345)

市の取り組み /

現在、参加者募集中

毎年イベントを男女共同参画センターで開催

今年は12月18日(日)午前10時～正午に、「進め 理系の卵たち～現役理系女子大学院生に聞く理系進路選択への疑問あれこれ」を開催。中高生が抱きがちな理系進路選択の疑問について、IRISのメンバーが話します。また、科学の楽しさを親子で学ぶイベントを毎年開催しています。昨年度は「科学に恋する秋～DNAを見てみよう」を開催しました。



過去のイベントの様子



「進め 理系の卵たち」のページ

大阪公立大学の理系女子大学院生チーム・IRIS

地域の身近な理系女性のロールモデルとして、女子中高生を対象に座談会や講座などを実施。その他にも小中高生に科学の楽しさや、おもしろさを広めるための活動をしています。



大阪公立大学のホームページ

読めば興味が増すはず /

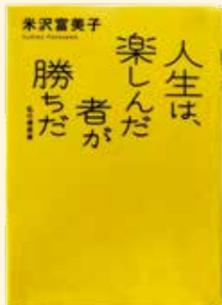
理工系女性が主人公のおすすめ本

男女共同参画に関する図書や資料など、さまざまな情報の収集と利用者への閲覧・貸し出しサービスを行う男女共同参画センターデュオの情報ライブラリー(TEL6388・1451 FAX6385・5411)。理工系に関する図書も取り扱っています。中でもおすすめを紹介。

すべての世代にお届けしたい

親子で読んでほしい

若い人に手に取ってほしい



『人生は、楽しんだ者が勝ちだ 私の履歴書』
 米沢富美子 著
 (日経BPマーケティング(日本経済新聞出版))

「前例があると、続く人たちは当たり前のようにその道を歩いていける」。日本の女性科学者の草分け的存在で、日本物理学会の会長も務めた市出身の物理学者・米沢富美子さんの自伝。吹田市教育委員会では毎年「米沢富美子子ども科学賞」を開催しています。



『しっばいなんかこわくない!』
 アンドレア・ベイティー 作
 デイヴィッド・ロバーツ 絵
 かとうりつこ 訳
 (絵本塾出版)

世界一のエンジニアになりたい小学生のロージー。「いまのしっばいはだいせいこう」と失敗を肯定的に受け入れてチャレンジし続けることの大切さを教えてくれます。NASAの女性宇宙飛行士キャスリーン・ルビンズさんが国際宇宙ステーション(ISS)から地球の子供たちへ読み聞かせをした話題の絵本です。



『私の科学者ライフ 猿橋賞受賞者からのメッセージ』
 女性科学者に明るい未来をの会 編
 (日本評論社)

自然科学の分野で、優れた業績を挙げた女性科学者に贈られる「猿橋賞」。高校生、大学生や若手研究者に向けて、19人の受賞者たちが研究者人生を語ります。米沢富美子さんも第4回猿橋賞の受賞者です。



理工系女子の進路選択を応援しよう



理工系の女性研究者が少ない日本

日本で理工系をめざす女性が少ない要因はいくつかありますが、中でも、中学・高校の教師や理工系の企業に女性の割合が少ないことにより、目にするロールモデルが少ないことが挙げられます。理工系に女性が増えることによって、理工系全体の人数の増加、理工系分野への多様な視点や発想が増え、一層の発展が可能になること、理工系を選ぶ女性の進路の選択肢が増えることが考えられます。

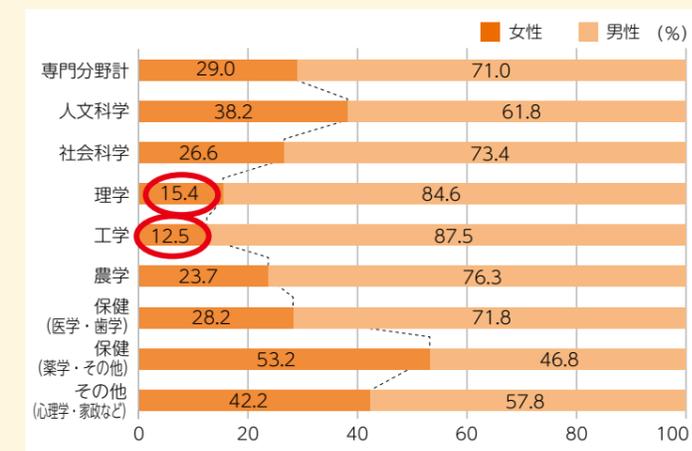
各国の研究者に占める女性の割合



※総務省「科学技術研究調査」(令和3年)より作成

日本の研究者に占める女性の割合は17.5%と低く、イギリスやアメリカの約半分近い数字になっています。

専門分野別に見た大学等の研究本務者の男女別割合



※総務省「科学技術研究調査」(令和3年)より作成

外国に比べて女性研究者が少ないうえに、国内の専門分野別に見た研究者の男女別割合でも、理工系の女性の割合は2割を切っています。

国の取り組み /

リコチャレ(理工チャレンジ)

女子が理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択(チャレンジ)することを応援する取り組みです。ホームページでは、各地で開催するイベントの告知や、理工系分野で活躍している女性からのメッセージ紹介などを行っています。「どんな研究をして、どんな仕事につなげていけばよいのだろう」「結婚したり育児したりするときに研究を続けられるか不安」など、将来のイメージを持ってない人はぜひチェックしてください。



リコチャレのページ